

# 北信越体育・保健体育ネットワーク研究会「トキめきラウンド」

北信越体育・保健体育ネットワーク研究会「トキめきラウンド」を、11月11日（土）に対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、以下の内容で研修を行いました。



- |   |           |   |
|---|-----------|---|
| 1 | 開会行事      |   |
| 2 | 提言        | 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた教師の在り方<br>桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授                       |
| 3 | 話題提供      | 新潟市小学校教育研究協議会（市小研）体育部の取組<br>～研究主題「自己の身体を見つめる力を高める児童」～<br>新潟市立小針小学校 三本 雄樹 教諭 |
| 4 | グループセッション |   |
| 5 | まとめ       | 桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授  |
| 6 | 閉会行事      |   |

## 提言



佐藤豊先生から『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実に向けた教師の在り方という演題で講演をしていただきました。

文部科学省や中央教育審議会が示している資料などを基に、基本的な考え方やICTの活用との関連などについて教えていただきました。

参加者からは、指導の個別化と学習の個性化について質問が出されたり、意見交換が行われたりしました。

## 話題提供

新潟市小学校教育研究協議会（市小研）体育部が、今年度から取り組んでいる「自己の身体を見つめる力を高める児童」という研究主題の概要と1年間を通して見えてきた成果と課題である「教師の在り方（役割）」「対話的な学びや協働的な学びが必要となる学習課題の質」「手立ての系統性」「自己の身体を見つめる力を高める児童の姿の見取り方（評価方法）」について報告させていただきました。

参加者からは、対話的な学びや協働的な学びを促す学習課題の質についてのご質問や、必ずしも全体で話し合う必要はなく、ペアやグループでの話し合いの大切さについてのご意見をいただきました。

新潟市小学校教育研究協議会（市小研）体育部  
令和5年度 研究主題  
**自己の身体を見つめる力を高める児童**

【用語の意味】  
・自己：一般的に自らについての内的表象を指す。  
心理学において自分によって経験または意識される自分自身を指す。  
・身体：心身を表す。見た目や能力について使われることも少なくない。  
・見つめる：目を他に向けて、その物をじっと見続ける。  
※自分：その人自身。 体：固体として肉体を表す。 見る：自分の目で実際に確かめる。

令和5年度 研究主題  
自己の身体を見つめる力を高める児童

どの学年でも  
どの運動領域でも

【主体的な学びの実現】  
自分に合った課題や解決方法を  
設定するための手立て

【対話的な学びの実現】  
自分が体験したことを他者に  
伝えるための手立て

【深い学びの実現】  
学んだことを自分なりの言葉で  
表現するための手立て

**自己の身体を見つめる力**  
(市小研体育部版メタ認知能力)

生涯にわたって  
心身の健康を保持  
増進し豊かな  
スポーツライフ  
を実現するための  
資質・能力を  
育成

## まとめ

佐藤豊先生からメタ認知について、様々な経験を積み重ねていくこと、自分の中で固まらないように見続ける見方の多様性の大切さについて教えていただきました。

また、授業者として、自分が子どもの目線に立ち続けること、運動することのおもしろさや楽しさの感性を醸成し、内在的価値を味わうことができる授業づくりの大切さについてもご指導をいただき、トキめきラウンド初のハイブリット開催での研修を無事に終了することができました。

(文責 三本 雄樹)